


CASBEE®-建築(新築)

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)版, CASBEE-BD, CASBEE-3.0, CASBEE-3.0+16版, CASBEE-BD, CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	THSプロジェクト	階数	地上3F
建設地	埼玉県児玉郡	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	40人
地域区分	S5地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年4月	評価の実施日	2017年3月27日
敷地面積	40,917 m ²	作成者	大成建設株式会社
建築面積	2,115 m ²	確認日	2017年3月24日
延床面積	4,780 m ²	確認者	大成建設株式会社
			

2-1 建築物の環境効率(BEE)ランク&チャート

BEE=1.4 ★★★★★ A:★★★★ B:★★★ C:★

S:★★★★★ A:★★★★ B:★★★ C:★



標準計算

30%:☆☆☆☆☆ 60%:☆☆☆☆☆ 80%:☆☆☆☆ 100%:☆☆ 100%超:★

①参照値
 ②建築物の取組み
 ③上記+②以外の
 ④上記+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです。

(kg-CO₂/年・m²)

92 (参照値) / 46 (取組み)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(L-Rチャート)



2-4 中項目の評価(L-Rチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0

音環境	2.6	3.0	2.9	3.4
温熱環境				
光環境				
空気質環境				

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.7

1	2	3	4	5
建物外皮の	自然エネルギー	設備のエネルギー	効率的	

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.3

1	2	3	4	5
水資源	非再生材料の	汚染物質		

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4

1	2	3	4	5
地球温暖化	地域環境	周辺環境		

Q2 サービエ性能 Q2のスコア= 3.3

1	2	3	4	5
燃費性能	耐用性	対応性		

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.4

1	2	3	4	5
生物環境	まちなみ	地域性・		

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>高効率・省エネ化を図り、また周辺環境への調和・負荷低減に配慮した。</p>	0
<p>Q1 室内環境 トランプライトを設けることにより、昼光利用を行う計画とした。</p>	<p>Q2 サービエ性能 内装材、外装材において維持管理のしやすい材料を使用した。</p>
<p>LR1 エネルギー トランプライトを設けることにより、昼光利用を行う計画とした。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル トイレに自動水栓、節水型便器を採用している。</p>
	<p>LR3 敷地外環境 敷地外への景観的配慮。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命・省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.2
Q1 室内環境							0.30		-	3.0
1 音環境						2.6	0.15		-	2.6
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40		-	
1.2 遮音						3.0	0.40		-	
1		開口部遮音性能				3.0	0.60		-	
2		界壁遮音性能				3.0	0.40		-	
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-		-	
4		界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-		-	
1.3 吸音						1.0	0.20		-	
2 温熱環境						3.0	0.35		-	3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50		-	
1		室温				3.0	0.38		-	
2		外皮性能				3.0	0.25		-	
3		ゾーン別制御性				3.0	0.38		-	
2.2 温度制御						3.0	0.20		-	
2.3 空調方式						3.0	0.30		-	
3 光・視環境						2.9	0.25		-	2.9
3.1 屋光利用						3.4	0.30		-	
1		屋光率				3.0	0.60		-	
2		方位別開口				4.0	-		-	
3		屋光利用設備		トランプライト計画。		4.0	0.40		-	
3.2 グレシア対策						3.0	0.30		-	
1		屋光制御				3.0	1.00		-	
3.3 照度						2.0	0.15		-	
3.4 照明制御						3.0	0.25		-	
4 空気環境						3.4	0.25		-	3.4
4.1 発生源対策						3.0	0.50		-	
1		化学汚染物質				3.0	1.00		-	
4.2 換気						3.0	0.30		-	
1		換気量				3.0	0.33		-	
2		自然換気性能				3.0	0.33		-	
3		取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-	
4.3 運用管理						5.0	0.20		-	
1		CO ₂ の監視		工場の敷地内禁煙となっている。		-	-		-	
2		喫煙の制御				5.0	1.00		-	3.3
Q2 サービス性						-	0.30		-	3.5
1 機能性						3.5	0.40		-	
1.1 機能性・使いやすさ						3.6	0.40		-	
1		広さ・収納性		1人当たりの執務スペースを12㎡以上確保している。		5.0	0.33		-	
2		高度情報通信設備対応				3.0	0.33		-	
3		バリアフリー計画				3.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性						3.3	0.30		-	
1		広さ感・景観		天井高さを2.7m以上確保している。		4.0	0.33		-	
2		リフレクティブスペース				3.0	0.33		-	
3		内装計画				3.0	0.33		-	
1.3 維持管理						3.5	0.30		-	
1		維持管理に配慮した設計		内装材、外装材において維持管理のしやすい材を使用している。		4.0	0.50		-	
2		維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						2.9	0.30		-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1		耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-	
2		免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.0	0.30		-	
1		躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-	
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-	
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-	
4		空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-	
5		空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20		-	
6		主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						2.8	0.20		-	
1		空調・換気設備				3.0	0.20		-	
2		給排水・衛生設備				3.0	0.20		-	
3		電気設備				3.0	0.20		-	
4		機械・配管支持方法				3.0	0.20		-	
5		通信・情報設備				2.0	0.20		-	

3 対応性・更新性		3.1 空間のゆとり		3.3	0.30				3.3
	1 階高のゆとり	階高を3.9m以上確保している。	4.2	0.30					
	2 空間の形状・自由度		5.0	0.60					
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.40					
	3.3 設備の更新性		3.0	0.30					
	1 空調配管の更新性		3.0	0.40					
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20					
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10					
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10					
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20					
	6 ハットクアツパスへの確保		3.0	0.20					
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40					3.4
	1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30					3.0
	2 まちなみ・景観への配慮	周辺のまちなみに対して、パランスのとれた景観計画としている。	4.0	0.40					4.0
	3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30					3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50					
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50					
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-					3.4
LR1 エネルギー			-	0.40					3.7
	1 建物外皮の熱負荷抑制								
	2 自然エネルギー利用	ソーラーパネルによる屋光利用。	4.0	0.13					4.0
	3 設備システムの高効率化	[BEI][Eemi] = 0.70	4.0	0.63					4.0
	4 効率的運用		3.0	0.25					3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00					
	4.1 モニタリング		3.0	0.50					
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50					
	集合住宅の評価								
	4.1 モニタリング								
	4.2 運用管理体制								
LR2 資源・エネルギー			-	0.30					3.3
	1 水資源保護		3.4	0.20					3.4
	1.1 節水	トイレに自動水栓、節水型便器を採用。	4.0	0.40					
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60					
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70					
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30					
	2 非再生性資源の使用量削減		3.4	0.60					3.4
	2.1 材料使用量の削減		3.0	0.11					
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22					
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	自動洗浄型小便器、洋風便所	3.0	0.22					
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	設備機器を集約し、内装とは明確に分離している。	4.0	0.22					
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-					
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		4.0	0.22					
	3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20					3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30					
	3.2 フロント・ハロンの回避		3.0	0.70					
	1 消火剤		-	-					
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50					
	3 冷媒		3.0	0.50					
LR3 敷地外環境			-	0.30					3.1
	1 地球温暖化への配慮	ラジエサルCO2排出量が、一般的な建物と同等。	3.5	0.33					3.5
	2 地域環境への配慮		3.0	0.33					3.0
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25					
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50					
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25					
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25					
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25					
	3 交通負荷抑制	敷地内に十分駐車場を確保している。	4.0	0.25					
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25					
	3 周辺環境への配慮		3.0	0.33					3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40					
	1 騒音		3.0	0.50					
	2 振動		-	-					
	3 悪臭		3.0	0.50					
	3.2 風雪、砂塵、日照阻害の抑制		2.3	0.40					
	1 風雪の抑制		2.0	0.70					
	2 砂塵の抑制								
	3 日照阻害の抑制		3.0	-					
	3.3 光害の抑制	広告物証明を行っていない。	4.4	0.30					
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70					
	2 屋光の建物外壁による反射光(グリンパ)への対策		3.0	0.30					

CASBEE埼玉県 重点項目シート













■使用評価ソフトウェア

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	THSプロジェクト	BEE	1.4	BEEランク	★★★
------	-----------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア	緑の保全・創出のスコア			
3.5	+	3.0	=	6.5
重点項目の各スコアーの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
	 	  	   	 

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 3.5

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア 3.5

<配慮した内容を記述>
 大気汚染防止、騒音・振動、悪臭等は法、条例を遵守している。また、まちなみとバランスの取れた外装計画など景観的配慮を行っている。

(2) 緑の保全・創出

スコア平均 3.0

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

- G3 室外環境(敷地内)
- G3 室外環境(敷地内)
- LR3 敷地外環境

- 1. 生物環境の保全と創出
- 3. 2 敷地内温熱環境の向上
- 2. 2 温熱環境悪化の改善

スコア 3.0
 スコア 3.0
 スコア 3.0

<配慮した内容を記述>
 敷地内の緑地を減らすことのない配置計画とした。

: 入力欄